新橋演舞場には1923年から始まった豊かな歴史があり、新橋の芸者による東をどりの公演で正式にオープンしました。この劇場の狙いは、芸者の伝統芸能をより多くの人々に紹介し広めることでした。第二次世界大戦中に建物が部分的に損壊しましたが、1948年に再建されています。1982年には、劇場の内装だけでなく、照明や音響技術にも焦点を当てた大規模な改装が行われました。ステージは、舞台と同じ高さで観客席をまっすぐ貫く通路である「花道」という歌舞伎の伝統にもとづいて設計されています。観客席は3階建てで1424席あります。 劇場の雪と月と花を表す雪月花の座紋が入った提灯が吊るされ、2階の手すりを装飾しています。

劇場は当初、芸者の伝統芸能を広めるための場所として建設されましたが、すぐにそのレパートリーに、歌舞伎、シェイクスピアの演劇、ミュージカル、そして近年はスーパー歌舞伎など、様々なジャンルの舞台芸術が加わりました。スーパー歌舞伎は特殊効果を取り入れた伝統歌舞伎に実験的要素が加わった、漫画やアニメからたくさんのインスピレーションを得た試みです。

スーパー歌舞伎プロジェクトIIとして「ワンピース」は、この劇場ではじめて公演されました。その成功に続いて、新しい歌舞伎「ナルト」がその後制作されました。

誇るべき革新を遂げながらも、新橋演舞場はルーツも忘れていません。1925年の公演行こう、東をどりは今も年１回公演が行われます。休憩時間には、芸者と交流することもでき、演者は観客と自由に会ったり、喋ったり、写真を撮ったりできます。

革新的な制作技術と舞台に近い座席は、演劇体験を近くで受けることができ、訪日観光客にとっては本当に思い出深いものとなります。

銀座は美味しい料理を食べる場所には困りませんが、新橋演舞場にいる際は、お腹が空いてもわざわざ劇場を出る必要はありません。劇場のレストランは地元の老舗料亭の料理人が監修しています。新橋演舞場は国立歌舞伎座から徒歩で10分かからない場所に位置しています。